

# 目 次

はしがき

略称一覧

序 章	国際政治の中の国際機構	1
	▶国際関係理論と国際機構論	
1	国際社会と国際機構	1
2	国際社会の基本構造	2
3	国際機構とは何か	7
4	国際機構の分析枠組み——本人代理人理論と官僚機構	9
5	本書の構成	12

## 第 I 部 国際機構をどのように分析するのか——理論

第 1 章	国際機構の歴史	18
1	19世紀の国際機構のはじまり	18
2	20世紀の国際機構（1）——制度化	23
3	20世紀の国際機構（2）——専門分化	29
4	現代的課題	31
第 2 章	国際機構の3つの側面	34
	▶「資源」「フォーラム」「アクター」	
1	国際機構の3つの側面と新型コロナウイルス感染症対応	34
2	国家の「資源」としての国際機構	35
3	国家間議論を促進する「フォーラム」としての国際機構	38
4	自律的な「アクター」としての国際機構	41
5	国際社会において国際機構はいかなる役割を果たしうるか	47

<b>第3章</b>	<b>国際機構の創設・発展・衰退</b> .....	50
1	創設——何が国際機構をつくるのか	50
2	発展——何が国際機構を大きくするのか	54
3	衰退——何が国際機構を弱らせるのか	58
<b>第4章</b>	<b>国際機構間の関係</b> .....	66
1	国際機構間の関係性	66
2	機構間関係をめぐる理論	71
3	機構間関係の具体例	76
4	グローバル課題の解決における国際機構間協調の模索	81
<b>第5章</b>	<b>国際機構と世論</b> .....	83
1	国家の視点——対外政策と世論	83
2	国際機構の視点	87
3	世論の視点	89
4	国際機構に対するバックラッシュと世論	94
<b>第6章</b>	<b>国際機構（論）を問い直す</b> .....	99
	▶ 《批判的国際機構論》序説	
1	国際機構（論）を問い直す	99
2	国際機構の《揺らぎ》	100
3	国際機構論の《揺らぎ》	103
4	《批判的国際機構論》とその道具立て	104
5	《国家中心的国際機構観》から《人間中心的国際機構観》へ	110

## 第II部 国際機構はどのような分野で活動しているのか——活動領域

<b>第7章</b>	<b>平和・安全</b> .....	114
1	平和・安全と国際機構——問題の構図	114
2	平和・安全のために国際機構はどのような活動をしているか	120

第8章	軍縮・不拡散	130
1	軍縮・不拡散と国際機構——問題の構図	130
2	軍縮・不拡散において国際機構はどのような活動をしているか	137
第9章	人権	147
1	人権と国際機構——問題の構図	147
2	人権において国際機構はどのような活動をしているか	154
第10章	難民・避難民	164
1	難民・避難民と国際機構——問題の構図	164
2	難民・避難民保護において国際機構はどのような活動をしているか	170
第11章	貿易	179
1	貿易と国際機関——問題の構図	179
2	貿易において国際機構はどのような活動をしているか	184
第12章	開発	194
1	開発と国際機構——問題の構図	194
2	開発援助において国際機構はどのような活動をしているか	203
第13章	環境	210
1	環境と国際機構——問題の構図	210
2	環境において国際機構はどのような活動をしているか	218
第14章	保健	227
1	保健と国際機構——問題の構図	227
2	保健において国際機構はどのような活動をしているか	235